

BIBLE + MESSAGE

わたしの目には、あなたは高価で尊い。

わたしはあなたを愛している。(イザヤ 53 章 4 節)

ここでの「わたし」とは創造主なる神様を指しています。神様は私たち一人ひとりに「あなたは高価で尊い」「わたしはあなたを愛している」と語りかけてくださっているのです。

人は自分の価値がどこにあるのかを考えます。ある人は頭の良さに価値を見出そうとするかもしれません。ある人は持っているお金の多さに価値を見出そうとするかもしれません。またある人は見た目の美しさに価値を見出そうとするかもしれません。自分の価値がなくなってしまうと、誰からも必要とされなくなってしまう。それはとても恐ろしいことです。だからこそ人は、自らの価値を高めるために、さまざまな努力を重ねるのではないのでしょうか。

しかし、造り主なる神様にとって、私たちがどれだけ賢いか、どれだけ富を持っているか、どれだけ美しいか、などといったことはまったく関係ありません。私たち一人ひとりの存在そのものが高価で尊いと仰られているのです。ここに人間の存在価値があるのです。



- ◆名鉄バス「日名町」前
- ◆愛知環状鉄道「北岡崎駅」から西へ徒歩3分
- ◆アビタ北岡崎店 筋向かい



スマホで上記のQRコードを読み込むと地図を表示できます。

【日曜学校】日曜：午前 10 時～ 10 時 45 分 【礼拝】日曜：午前 11 時～ 12 時半
【午後の集会】日曜：午後 3 時～ 4 時半 【聖書研究会】木曜：19 時半～ 21 時

聖書を読んだ日本人

先月号で紹介した新島八重の夫新島襄は日本の近代化を導いた明治時代の教育家の一人です。

新島は 1843 年、東京の神田にある武家屋敷に生まれました。友人からもらった地図書をきっかけとして、彼はアメリカに強い憧れを持つようになります。その後、新島は幕府の軍艦操練所で洋学を学ぶのですが、その頃、アメリカ人の宣教師が翻訳した漢訳聖書と出合い、聖書が教えられている国に行くことを決意するのです。

新島は 1864 年、21 歳の時に国禁を破って函館から出国。翌年、アメリカのボストンにたどり着きます。彼がアメリカで見たのは、キリスト教人格主義に立つ全人教育でした。単に学問を学ぶだけで

なく、道徳や芸術・宗教など、幅広い教養を身につけた人々が、地方や国家のリーダーとなつてアメリカをリードしていることに新島は着目したのです。このような人間を日本でも教育することができれば、日本を近代化することができる。彼はそのように考えました。

すでにキリスト教の信仰を持つに至り、神学校で学んでいた新島は 1874 年、宣教師として日本に帰国します。そしてキリスト教を伝えるとともに、日本近代化のリーダーとなる人物の育成を目的とした同志社英学校（同志社大学の前身）を京都に設立するのです。新島が思い描いていた構想は壮大なものでした。文学や哲学、神学、法学、理学、医学などといっ



新島が洗礼を受けた
アンドーヴァー神学校の
バートレット・ホール

た各学問の専門学部を擁する欧米諸国の伝統的な総合大学を彼は目指していたのです。新島は大学設立のために東西を問わず奔走し、献金を募るために再びアメリカを訪ねました。しかし、長年の過労の結果、彼は 1890 年、46 歳の若さでこの世を去ることになるのです。それは、神奈川県大磯での大学設立を目前にした時だったそうです。



新島 襄
(にいじま じょう)
1843 年～ 1890 年